

静岡県漁業協同組合連合会

1139静岡市葵区追手町 9-18
17. 4. 15 ☎054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 第70回大漁祈願祭を挙行 大漁満足と航海の安全を祈願

本会及び県信漁連では、去る4月13日三島大社において水産関連団体の協賛により、第70回大漁祈願祭を挙行しました。

同祈願祭は、我が国最初の漁業法が誕生した明治34年4月13日を記念して、昭和8年に定められた水産デー(祭り)の主行事として実施されたもので、昭和9年に第1回が行われて以来、戦時中の2年間を除いて毎年恒例行事として執り行われてきました。

当日は県をはじめ、本県漁業関係者約50名が参列するとともに、本殿神前には各漁協等から持ち寄られたタイ、カツオ、サクラエビ等の海の幸が供えられ、禰宜や巫女による「八乙女の舞」「人長の舞」が奉納された後、本会、県信漁連、県、地区運営委員会及び水産関連団体の代表者が順次玉串を奉奠し、本年の大漁満足と航海の安全を祈願しました。

2. 緊急全国漁業代表者集会開催される

JF全漁連、大日本水産会、全国水産物輸入対策協議会では、わが国の漁業を守り、安定供給体制を確保するため輸入割り当て(IQ)制度堅持並びに燃油高騰対策などを求める「緊急全国漁業代表者集会」を去る4月6日、自民党本部で開催され本県からも7名の代表者が参加する中、開催されました。

集会は、中須大日本水産会長の開会の辞の後、植村JF全漁連会長が主催者を代表して挨拶を述べました。引き続き、熊本県網田漁協中島組合長(ノリ養殖業)、愛媛県宇和島漁協中田組合長(魚類養殖業)、宮崎県外浦漁協丸山組合長(漁船漁業)の3人が夫々の立場から、海面養殖の危機的状況 ノリ産業の国内対策とIQ堅持 燃油高騰対策について意見表明を行い、生産者としての厳しい状況を訴え、続いて北海道北のい漁協今組合長が大会決議文を読み上げ、満場の一致で承認、採択されました。

自民党からは多くの議員が出席し、鈴木俊一自民党水産総合調査会長、桜井新自民党農林水産物貿易調査会長、鶴保庸介自民党水産部会長が、所信表明を行いました。

最後に、参加者全員で「IQ制度を堅持せよ」「燃油価格高騰に係る緊急対策を実施せよ」などのシュプレヒコールを行い終了しました。終了後本県代表者により、県選出国会議員の事務所を訪問、要望書を手渡し要望事項の実現のため陳情を行いました。

3. 漁港の水質改善研究

水産庁では、近年出荷時期を調整する蓄養、稚魚を育て放流する中間育成に取り組む漁港が増え、更に港内に一般生活排水などが流れ込み水質改善が必要と判断したことから、平成17年度から漁港の水質改善の技術研究を始めます。

水産庁によると、全国に約3千ある漁港のうち現在、タイやアジなどを蓄養しているのが113港で、タイやヒラメなどの中間育成は96港で行われています。しかし、港に生活排水などが流れ込むと出荷する魚にも悪影響が出る可能性があり、一部の漁港では、防波

堤に穴を開け港外の海水を入れる試みも始まっています。

水産庁の研究は、港内外を仕切る防波堤近くの海中に設置した大型のプロペラのような装置(動力には風力発電など自然エネルギーを利用)で海水をかき回し、構内外の海水を交換する方式を想定し、水産土木建設技術センターに研究を委託して、漁港の広さや潮流の速さが異なる数カ所の漁港で実験し、実用化を目指します。

4. 第25回全国豊かな海づくり大会写真コンクール作品募集

全国豊かな海づくり大会は、恵みある海の自然環境を守るとともに、水産資源を守り育て、永く後世に伝えることの大切さを国民に理解してもらい、豊かな海づくりに寄与することを目的に、昭和56年から毎年開催されているものです。

今回は第25回大会が11月20日、みなとみらい21地区(横浜市)において「光る海 未来を映す 大きな鏡」を大会テーマに開催されますが、大会の趣旨を広く皆様に理解していただくために、写真コンクールが行われますのでお知らせします。

応募方法：画題、住所、氏名、年齢、職業または在学学校名・学年、連絡先電話番号、撮影日・場所、撮影データを記入した応募票(自作可)を作品の裏面にテープで貼る
題材：水産業並びに海とその生活に関するもの 漁業、漁港、市場、漁村風景、海の生物に関するもの 部門及び応募資格：中学生の部 = 中学校生徒及び盲・ろう・養護学校中学部の生徒 高校生の部 = 高等学校生徒及び盲・ろう・養護学校高等部の生徒 一般の部 = 特に制限なし サイズ：サービス版(一般の部はキャビネット判以上)~ワイド四つ切のカラー及び白黒プリント、スライド・デジタルカメラ可 発表：入賞・入選作品は第25回全国豊かな海づくり大会において発表・展示(予定) 応募締切：平成17年7月15日(金)(必着) 送付・問合せ先：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル4F 全国豊かな海づくり推進協会内「第25回全国豊かな海づくり大会コンクール係」 TEL：03-5297-2651

5. 港湾関連用語集作成 HPに掲載

県清水港管理局ではこのほど、港の維持管理で使われる約200語を分かりやすく解説した「港湾関連用語集」を作成し、同局のホームページに掲載しました。

この用語集は、市販の用語集と異なり、清水港に即した説明を加えたのが特徴で、カラー写真や図も用いて、職務能力の向上を狙い各課の若手職員によるプロジェクトチームを作って掲載する用語を拾い上げています。夫々の用語には平仮名の振り仮名と英語表記も付け総合的な学習の時間の資料としても活用できそうです。

サイズ：A4判・49頁・PDF717KB HPアドレス = <http://www.portofshimizu.com/>

6. 諸会議日程(4月19日(火)~5月2日(月))

- 既報分省略 -

4月26日(火) 県おさかな普及協議会 = 代表幹事会 (県水産会館)

4月28日(木) 県漁連 = 第1回理事会 (")

" 県JF共済推進本部 = 運営委員会 (")

日程変更

1138号にて既報済の県漁港漁場協会の監査会4月25日は、5月10日に変更となりましたのでお知らせします。